

活動報告

■活動日時：2023年7月2日(日) 9:30~15:30

■プログラム名：カブトムシの森 草刈りと材処理

■目的：カブトムシの森に来場者が入りやすいように草刈りを行うとともに伐倒後のクヌギの玉切りを行う。

■活動場所：カブトムシの森A地区、B地区、C地区

■参加者： 10名

■活動概要：A班：遊歩道沿いの草刈りAB地区、B班：A地区湿地の草刈り、C班：A地区伐倒後のクヌギの材処理2本



■活動内容：

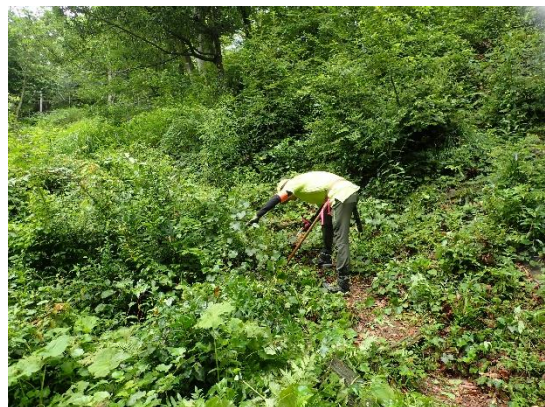
大雨警報解除後の梅雨の晴れ間となり、蒸し暑いなかでの作業となりました。各自の体力に合わせて、カブ森遊歩道沿いの草刈り作業A班、湿地での草刈り作業B班、チェーンソーでの材処理C班に分かれて活動しました。安全確保のため、お互いに接触しないようにエリア分けを行い活動しました。

A班は、カブ森A地区からB地区にかけての遊歩道沿いを希少植物に注意しながら選択的に草刈りを行いました。一部に人が通れないように草が生えているところもあり、遊歩道が快適に通れるように歩道の左右50cm程度を手鎌で草刈りを行いました。

B班はカブ森A地区の湿地に繁茂していた1m以上もある草を刈りました。遊歩道沿いから刈り払い機で草刈りを行うとともに、2mほどの柄のついた大鎌で湿地の中まで入り、伸びきった草を刈り取りました。

C班は、A地区で伐倒したままとなっていたクヌギをチェーンソーで105cmごとに玉切りしました。

チェーンソー作業をするため、木の下をスコップで掘るなど思った以上に時間がかかりました。これまであまり使っていなかったフェリングレバーも材を回転させたり、移動させたりするのに有効でした。材処理はクヌギ2本行いま



したが、3本目は、途中でチェーンソーの調子が悪くなり断念しました。なお、A地区で草の下に隠れていたクヌギがまだ8本あることが判明しました。

午後の活動では、みなさん疲れが見えてきたので、14時に作業を切り上げました。今日は、気温も高く、湿気もあり、Tシャツから汗が絞りでるほどの作業となりましたが、みんな怪我無く無事に作業を終えました。



〈夏休み前、子どもたちが森に入りやすくなるように作業しました。暑かったですが晴れ晴れ。〉